



満開の桜咲く小田原城址公園

昨年「社会を明るくする運動」で黄色のカラーライトアップした天守閣はとても映えました。

第 57 号



地域のつながりを  
深める実践活動を！

神奈川県更生保護女性連盟

会長 武田 容子

コロナが五類へ移行された令和五年も瞬く間に過ぎてゆきました。日本中に活気が戻ってきているのと、日に日に感じておりました。

当連盟も今までの空白を取り戻したかのように活動が蘇って参りました。リーダー研修、ブロック研修、新会員研修、会員研修を実施いたしました。石川専門官の提案で、新しい試みとしてグループワークを取り入れました。研修に参加された方一人ひとりが何かを話して帰っていくという、この会に来て良かったなと思ってもらえるようにとの配慮でしたが、会員の皆様からは、来てよかったとの高評価を頂いています。研修に参加して、ただ一方的にお話を聞くだけではなく、時として自分の意見を皆様の前で話し、また、皆で話し合える場を提供する事も必要な事であると、実感した年でもありました。こうしたことは、常務理事の皆様方の心強い後押しという背景があつてこそ実現できましたことに心より感謝申し上げます。

今年の夏は猛暑続きでした。この暑さの中、地区会では祭礼、ミニ集会、社会を明るくする運動、施設への訪問活動などを積極的に活動されていられました。何かの呪文から解放されたかのように、各地区の皆様が元気に動き始めましたね。とても素晴らしい事だと思います。

新しい年を迎え、気持ちも新たに、各地区の更生保護女性会を色とりどりに編み上げてください。一つ一つの地区が活発に活動を展開し、ブロックが結束してまとまっていく、それが何よりも大事な事だと思います。それぞれがどんな色に編みあがっていくのか、とても楽しみです。合言葉は、「正しく清く美しく、楽しく朗らかに、前を向いて進みましょう！」

会員の皆様方の、ますますのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。